

令和6年度 第2回川崎市市民健康づくり運動推進懇談会 摘録

1 日時

令和7年3月25日(火) 14時～15時

2 場所

303会議室

3 出欠 (◎印: オンライン参加)

(1) 出席委員

岡野 敏明 委員◎ 高柴 重幸 委員 伊藤 啓 委員 堀田 彰恵 委員
濱谷 由美子 委員 須賀 万智 委員◎ 岩井沢 美穂 委員◎ 小川 町子 委員
宇賀神 はな子 委員 清水 豊 委員 齋藤 健一 委員

(2) 事務局出席

健康福祉局長	石渡 一城
川崎市立看護大学 副学長	荒木田 美香子
健康福祉局保健医療政策部 担当部長〔歯科保健政策〕	半澤 元章
市民文化局市民スポーツ室 担当課長	荻田 恵子
こども未来局児童家庭支援・虐待対策室 担当課長〔母子保健〕	村山 智子
健康福祉局保健医療政策部保健医療政策担当 担当課長	土元 寛人
健康福祉局保健医療政策部健康増進担当 担当課長	高橋 伸孝
健康福祉局保健医療政策部健康増進担当 担当課長	阪田 敬子
健康福祉局保健医療政策部健康増進担当 課長補佐	國米 佑宇
健康福祉局保健医療政策部健康増進担当 主任	北野 葉子
健康福祉局保健医療政策部健康増進担当 職員	齋藤 北斗
健康福祉局保健医療政策部健康増進担当	青木 優里

4 議事

- (1) 「かわさき健康づくり・食育プラン」における令和6年度の取組について
- (2) 川崎市健康増進計画の評価指標に対する今後の取組について

5 公開又は非公開の別

公開

6 傍聴人の数

0名

7 配布資料

資料1	「かわさき健康づくり・食育プラン」における令和6年度の取組について
資料2	川崎市健康増進計画の評価指標に対する今後の取組について
別紙	川崎市健康増進計画の評価指標に対する今後の取組について (検討シート)

参考資料 見直そう！健康習慣 リーフレット
参考資料 Good Sleep ガイド

8 議事

(1) 「かわさき健康づくり・食育プラン」における令和6年度の取組について（報告事項）【資料1】

（事務局）資料1に基づき、令和6年度の取組を説明。

(2) 川崎市健康増進計画の評価指標に対する今後の取組について【資料2・別紙】

（岡野委員）65歳以上の高齢者という言葉が出てくると、ネガティブなイメージが出てくるので時代に合せて言葉の対象者を見直す必要がある。TEKTEKについては、歩数だけではなく、歩き方も注目していったら良いと思う。

（事務局）65歳以上の高齢者という表現については、今後工夫していきたい。

（宇賀神委員）市民活動の中で、ラジオ体操や講座を実施している。別紙に「ビジネスシーンでもできる靴の推奨」の記載があるが、運動靴の靴紐の結び方や、合わない靴を履いて運動することによる弊害についての啓発活動も実施している。

（事務局）市として一緒に啓発出来るものがあればアイデアを頂きたい。

（齋藤委員）歩数の指標について、ただ歩くだけでなく、速度等も重要だという声もあるが、歩数だけを指標にしてよいのか。

（事務局）歩数の指標については厚生労働省の指標を基に作成している。本計画期間中は変更できないが、今後、国等の動向を見ながら検討していきたい。

（薬剤師会）薬剤師会でもかわさき TEKTEK の企業対抗ウォーキングに参加をしたが、普段より明らかに歩く量が増えたと感じている。イベント等を実施することによって効果はあるのか。

（事務局）イベントを実施すると歩数が増える。昨年度、事業の成果アンケート調査を実施したが、「運動していなかった人が TEKTEK を始めて動くようになった」と回答した人が約9,000人いた。次年度、効果検証をしていきたいと考えている。

（局長）かわさき TEKTEK は働き盛り世代をターゲットにしている。令和7年2月末の属性では、10代が372名、20代が3,620名、30代が8,327名、40代が19,948名、50代が12,728名、60代が7,917名、70代が5,237名、80代以上が1,213名であった。子供が通っている小学校に投票しているようなので、ターゲットとしてはクリアだと思う。

（清水委員）50名未満の事業所に対して、相談を受ける機会を持っているが、かわさき TEKTEK のチラシを用いて案内している。企業の方の健康維持に良い取組だと思う。

（小川委員）多摩区役所の階段を使う機会があるが、歩いている方を見たことがなく、暗くて歩きづらい環境だと言える。区役所の上まで歩くこともあるが、もう少し周知したりアピールしたら良いと思う。

- (事務局) 本庁舎でもデジタルサイネージとして、2アップ3ダウンの啓発を行っている。周知をしているつもりでも、実際の取組につながっていないことがあり、今後も周知方法等を検討していきたい。
- (堀田委員) 指標4に子どもの体力低下が記載されているが、子どもが小さい時は遊び、体を作るような取組の仕方の普及啓発をすると良いと思う。
- (事務局) 小学校で、率先して外に出て遊ぶ小学校キラキラタイムを実施している。行政でできることも考えていきたい。
- (堀田委員) こども文化センター等のこども未来局と連携して幼児期の健康づくりの啓発ができれば良いと思う。
- (事務局) 医師会、歯科医師会に協力してもらっている乳幼児健診でも、運動の重要性等について啓発を行っている。親が子どもと一緒に運動することや、踊ること等具体的な体を使った健康づくりについて案内をしている。
- (事務局) かわさき TEKTEK は小学校を対象にしているが、なわとびやボールを買いたいという声があり、キラキラタイムにも活用してもらっている。今月末がポイントの交換期限のため、周知していきたい。
- (事務局) 乳幼児向けの親子体操コンサートを企画した。各区にスポーツセンターがあり、リトミックや親子体操などに取り組んでいる。健康増進につながるという意味で活用していきたい。
- (濱谷委員) TEKTEK に参加した人数について説明があったが、若い方もたくさん歩いている。イベント等を実施しても、来る方がいつも同じであり、本当に伝えたい対象に伝わっていないように感じていたが、各年代で参加人数が多く、関心がある方が多いように感じた。また、ポイントが子どもに還元されるのが良いと思った。様々な取組について子どもから親に伝えてもらうのが効果的だと思う。
- (岡野先生) かわさき TEKTEK については、ポイントにメリハリをつけると良いのではないかなと思う。強化月間等を作成して、その期間はポイントを2倍にする等の取組をすると面白いのではないかなと思う。また、3月のポイント交換時期の周知を強化して欲しい。ポイントの換金率が低いのであれば単価を上げられないか。
- (事務局) 参考にさせていただく。企業からの協賛金を頂いており、それ以外は競馬競輪の売り上げから補填、約 1,200 万円程度支払っている。付与率については、学校によって偏りがある。ポイントの換金については、商品がなくなることもあるが、それについては、ホームページや SNS にて掲載している。今後も広報に力を入れていきたい。
- (伊藤委員) 薬の適正使用について、学校の薬物防止教室にてオーバードーズについての周知をしているが、実効性を感じていない。歯科医師会が実施している学校保健大会で、歯のポスターを子どもが作成し、優秀作品の表彰をしており、とても効果的に感じた。薬の適正使用でも子ども達にポスターを作ってもらうことはできないか。
- (事務局) 薬物乱用防止やオーバードーズについては重要な問題だと思うので、何かしらの取組は進めていきたい。

(宇賀神委員) 階段利用促進のポスターについて、チャレンジ性を持たせるとよりよいのではないかと。

(事務局) アイデアで参加してもらえるようにするのは良いと思う。

(堀田委員) 健康格差の問題がある。様々な生活背景を持っている人等、情報が届かない方にどう働きかけるかが重要だと思う。様々な接点を使って色々な方々に働きかけていければ良いと思う。

(高柴委員) スポーツジムの割引優待についてお金をかけずに企業とタイアップできれば良いと思う。また、緑化フェア等の大きなイベントでアピールできれば良いと思う。

9 その他

なし

以上